

青森編

雪印種苗(株) 十和田営業所

沼原 健二

## 1 はじめに

青森県の酪農は牧草、デントコーンを主体とした自給飼料型の飼料体系であり、これらの自給飼料をいかに上手に栽培し、栄養成分的にそして嗜好性において、牛にとっていかに良いものを取るかがキーポイントになります。酪農家を巡回していても、この点が大きな問題であることを強く感じ、堆肥や土壌改良材、化成肥料の入れ方等土壌の管理を考え直さなければなりません。

牛側からみると、遺伝的改良が進み潜在能力が高くなっている中、自給飼料のできいかんにより、経営を左右しかねません。一方では、育成牛管理や乾乳牛管理に対する意識はまだまだ低く、能力を十分に発揮できていない印象を受けます。

今回は酪農家を巡回している中で、乾乳牛の飼養管理が今のままではいけないと感じ、「スノードライバランス」を用いて改善に乗り出した、2戸の酪農家をご紹介します。

## 2 事例その1：I牧場

I牧場はフリーストール牛舎、TMR 給与の一群管理をしています。現在搾乳牛が約50頭、1日に約1,300kgの生乳を出荷している酪農家です。「スノードライバランス」を使い始める前は分娩の2か月前に乾乳にし、乾乳期を通じて、1頭当たり2～3kgのふすまと自給乾草(オーチャード主体)のみで分娩させていました。オーバーコンディションで乾乳になった牛が、乾乳期に一旦やせるといった傾向が見られていました。当時は起立不能やケトシス、乳熱といった分娩後の疾病も多く発生しており、乾乳期の管理を考え直す時期にあり、



写真1 広くゆったりとした分娩房

乾乳期専用の飼料があればと思っていたそうです。昨年12月頃、ある集まりで北海道へ行った時、会場の入口前で「スノードライバランス」のPRをしているのを見かけ、興味を持ち使ってみようと思ったそうです。

現在は自給乾草を自由採食させ、分娩の3週間前より「スノードライバランス」を2～3kg給与しています。「スノードライバランス」は給与を開始した直後は、食い残す牛もいたが、たいていの牛が食いきっており、嗜好性も比較的良好そうです。分娩間近の牛は写真1の様に牛舎内の一角を分娩房として広くとり、ゆったりと分娩できる様にしてあります。給与を開始してから現在までに16頭が分娩しており、以前まで多かった疾病が減少し分娩後の食い込みも良く、乳量の立ち上がりも良好になっています。

畜主の話ではまだ使い始めて半年であり、現在までも疾病等の面で効果は見えてきており、これからも給与を続けていき、様子を見たいとのことでした。

## 3 事例その2：K牧場

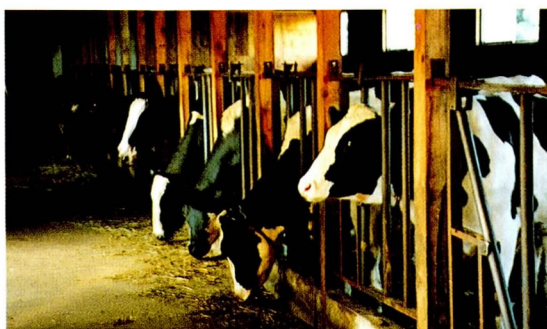


写真2 乾乳牛は別飼い

K牧場は繋ぎ飼いでTMRを給与し、搾乳牛頭数約60頭、1日の生乳出荷量が約1,500kgの酪農家です。昨年8月より「スノードライバランス」を給与し始めています。以前より乾乳後期の別飼いをしたいと思っており、専用の飼料があればと考えていたとき、当社の営業マンに勧められ使い始めたのがきっかけです。使い始める前までは、乾乳後期のボディコンディションスコアが低く、毛づやも悪く、特に分娩後食欲不振になる牛が多かったそうです。この当時の乾乳期飼料メニューは、自給乾草と泌乳牛用のTMRであったそうです。現在は自給乾草（オーチャード、チモシー）を5kg、泌乳牛用のTMRを5kg、「スノードライバランス」を2kg給与しています。乾乳牛は写真2、3のように泌乳牛と分けて飼っています。このメニューに変えてからは毛づやが良くなり、分娩後の食い込みも良くなったということでした。また、なんとなくではあるが乳量に持続性が出てきた様であるとのことでした。

K牧場の場合もI牧場同様に「スノードライバランス」を給与した乾乳牛での夏場の分娩を経験しておらず、分娩後の疾病や食い込み、乳量の立

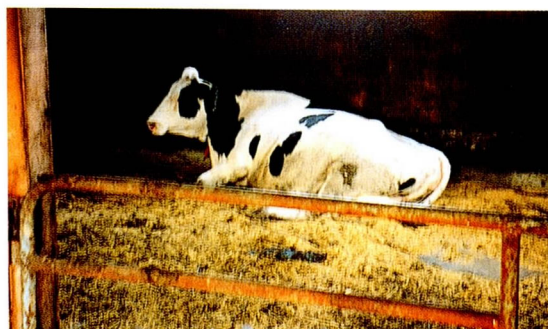


写真3 分娩房

ち上がりがどうなるか、注目していきたいとのことでした。

#### 4 おわりに

青森県では牛群検定を受けている酪農家は少ないのが現状であり、乳量の把握ができておらず泌乳期の栄養管理も疎かになりがちです。分娩後の疾病も多く発生しており、泌乳期のボディコンディション管理、乾乳期の飼養管理が重要であることを感じている酪農家は多く見受けられます。しかし、実際に行動に移している酪農家は決して多いとは言えません。

今回紹介した2戸の酪農家は、健康に牛を飼うことを目的に、今までの管理は不十分であるというところからスタートしています。乾乳牛用に専用ストールをつくって、畜主の目がとどきやすい環境を作り、栄養管理の面で改善を加えたことが良い結果につながっているものと思われます。ただし、ボディコンディションが標準より極端に低かったり、高い牛でも分娩後の疾病は発生しており、次のステップとして泌乳期の栄養管理、ボディコンディション管理が必要と思われます。



### 乾乳用配合飼料「スノードライバランス」

#### 使用されたお客様の声

- 1) 分娩後の乾物摂取量が高まり、ピーク乳量が増加した。
- 2) 分娩後のボディコンディションの減少が小さくなり、繁殖成績が良くなった。
- 3) 周産期病が減った。
- 4) 乳房の張り、色が良くなった。
- 5) 後産が直ぐに落ちるようになった。

ぜひ一度お試しください。